



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名:キタテハ 学名:*Polygonia c-aureum*



名前のおり黄色いタテハチョウです。キタテハの仲間の翅は外縁がギザギザしているのが特徴です。夏型のキタテハ翅表はくすんだ黄色ですが、秋になると写真上のような鮮やかな黄色の秋型が現れます。後翅裏面中央にC字型（L字型にも見える）の紋があり、これが学名*c-aureum*（金色のCの）の由来です。

同属のシータテハは、学名を*P. c-album*（白いCの）といい、和名、学名とも裏面のC字型の紋にちなんだ命名をされていますが、広島県には分布していません。

鮮やかな翅表に比べ、翅裏は暗い褐色で草むらの下に入ると目立たず、保護色となっています。

幼虫は、道端など日当たりのよい草地に見られるカナムグラを食べるので、成虫も各地で見られます。幼虫には、いかにも痛そうなとげが多数ありますが、柔らかく毒はありません。

タテハチョウの仲間は、前脚が退化して棒状になり、4本脚に見えます。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

